

今週（3月27日から3月31日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、マクロ加算残高にかかる基準比率が高水準となっている事や、貸出増加支援オペ残高が増加した事を背景に、30日までは調達意欲の強い展開となった。

無担保コールO/N物は、引き続き邦銀業態からの調達が中心となる中、30日までの加重平均レートは▲0.015～▲0.014%で高止まりしての推移となった。31日は、年度末となった事で例年通り調達参加者の減少に伴い、レート水準はやや低下する展開となった。

ターム物は、四半期末を跨ぐ取引を控える先も多い事から、4月スタートのショートターム物が中心となったが、案件は限られ散発的に出合う程度となった。

日銀当座預金残高は、27日にTDB 3M物の発行・償還、29日に40年債の発行が行われた中、国債買入オペや年度末諸払いなどの要因も加わり、540兆円台半ばから540兆円台後半での推移となった。

●レポ市場

今週のO/N GCは、▲1.00～▲0.10%のレンジでの取引となった。足元GCでは、期末要因により非常にタイトな出合いが見られた。

SCIは、カレント銘柄近辺や、チーベスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、入札がなく閑散なマーケットとなる中、全ゾーン横ばい圏で推移した。

短国買入オペは、28日に前回と同額の1,000億円でオファーされ、やや軟調な結果となった。

●CP市場

今週のCP発行市場は、月末週にあたり複数の業態で大型発行が見られたものの、年度末の有利子負債圧縮の影響が大きく、大幅な償還超のマーケットとなった。

市場発行残高は、30日までは25～26兆円台での推移となったが、31日には期末要因から大幅に減少する見込みとなった。

発行レートについては、前週に引き続き0%近辺での出合いが中心となっている。ただし、ロングターム物の案件では、日銀による政策変更の警戒感からレート水準にばらつきが見られた。

CP等買入オペは、28日に事前予定通り4,000億円でオファーされた。結果は按分レート+0.002%、平均落札レート+0.018%と前回比（按分+0.003%・平均+0.013%）で按分は低下し、平均は上昇となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
3/27（月）	27,476.87	0.290	130.65	△ 0.014	△ 0.197	5,439,700
3/28（火）	27,518.25	0.305	130.65	△ 0.015	△ 0.251	5,463,400
3/29（水）	27,883.78	0.300	131.27	△ 0.015	△ 0.331	5,465,700
3/30（木）	27,782.93	0.315	132.52	△ 0.014	△ 1.205	5,493,700
3/31（金）	28,041.48	0.320	133.48	△ 0.030	△ 0.118	5,490,800

来週（4月3日から4月7日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
4/3 (月)	3月調査の日銀短観(概要及び要旨,日銀 8:50)	TB3M 63,000億円 4/4発行			3月のISM製造業景況指数 2月の米建設支出
4/4 (火)	3月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10Y 27,000億円 4/5発行	交付税借入 13,000億円 4/11借入		2月の米製造業新規受注・出荷・在庫
4/5 (水)	4月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)				2月の米貿易収支 3月のISM非製造業景況指数
4/6 (木)		TB6M 40,000億円 4/10発行	30Y 9,000億円 4/7発行	交付税借入 13,000億円 4/14借入	
4/7 (金)	3月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 2月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 2月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 2月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TB3M 63,000億円 4/10発行			3月の米雇用統計 EURO、London祝日(Good Friday)

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/3 (月)	600	▲ 33,400	▲ 32,800	CP買入 国債補完	▲ 100 53,700		53,600	20,800	2Y発行▲29,000 償還4,500
4/4 (火)	1,000	▲ 16,000	▲ 15,000				0	▲ 15,000	普通交付税払い 地方特例交付金 税・保険料揚げ TB3M発行▲63,000 償還60,000
4/5 (水)	1,000	▲ 27,000	▲ 26,000	全店共通	▲ 8,500		▲ 8,500	▲ 34,500	10Y発行▲27,000
4/6 (木)	500	3,000	3,500				0	3,500	恩給
4/7 (金)	500	▲ 9,000	▲ 8,500				0	▲ 8,500	30Y発行▲9,000
週 間 合 計	3,600	▲ 82,400	▲ 78,800	—	45,100	0	45,100	▲ 33,700	

4/3は日銀予想、4/4以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、年度末要因の剥落により取引参加者の復帰が見込まれることから、レート水準は▲0.015%近辺に再び上昇することが予想される。債券レポのGCLレートは、▲0.100～▲0.080%のレンジでの推移が予想される。短国市場は、4月3日に3M物、6日に6M物、7日に3M物の入札実施が予定されている。また、5日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、期明けの発行となり案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、3日に3月調査の日銀短観、海外では、3日に3月のISM製造業景況指数、5日に3月のISM非製造業景況指数、7日に3月の米雇用統計などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入